

「第67回岐阜新聞大賞」決まる

平成28年度「第67回岐阜新聞大賞」を次の6氏と1団体に贈り表彰します。学識経験者による選考委員会(委員長・森脇久隆岐阜大学学長)で慎重に審査、その答申を受けて決定しました。受賞者には、春慶塗の表彰盾とクリスタルトロフィーを贈り、その功績を称えます。贈呈式は2月11日午前10時から、ぎふチャンテレビスタジオで行います。

学術部門

岐阜大学理事・副学長

鈴木 文昭氏
すずき ふみあき

農芸化学、特に「レニン・アンギオテンシン系の生物化学的研究」における膨大な研究績と後進研究者の育成、ならびに岐阜を核とした国際的な農学研究コンソーシアムの形成に多大な貢献をした。

岐阜大学工学部教授

村井 利昭氏
むらい としあき

原子同士の切断や連結の新しい方法論の開発と、それに基づく有機合成で、分子レベルでの三次元空間の制御や特異な光特性を発揮できる化合物群を創製する基礎的元素化学領域の研究を推進。

文化部門

TAJIMI CHOIR JAPAN

多治見少年少女合唱団とシニアコア

これまでの活動が評価され、今年7月バルセロナ(スペイン)で開催される「第11回世界合唱シンポジウム」に160を超えるエントリーの中から最終24に選ばれ、栄えある招待合唱団として参加。

地域文化貢献部門

美濃歌舞伎博物館 相生座、
ミュージアム中仙道 館長

小栗 幸江氏
おぐり さちえ

昭和47年、父である小栗勝氏(故人)と美濃歌舞伎保存会を設立。昭和51年には芝居小屋「相生座」を移築復元。県内外の地歌舞伎保存会の再興に協力。海外にも岐阜の地歌舞伎の魅力を発信。

産業部門

岐阜トヨペット会長

加藤 誠三氏
かとう せいぞう

48余年にわたり一貫して自動車関連事業に携わり常に誠実かつ適正に業務を遂行し、事業の伸長ならびに業界の団結と健全な発展、経営改善と指導、さらには自動車の普及にも貢献。

観光振興部門

飛騨・高山観光
コンベンション協会会長

堀 義則氏
ほり やすのり

(一社)飛騨・高山観光コンベンション協会会長として、誘客宣伝事業やイベント事業、コンベンション誘致事業などを積極的に実施し、高山市の観光振興を民間側で支える要として活躍。

匠部門

吉田旗店会長

吉田 稔氏
よしだ みのる

江戸時代に確立された伝統的な染色技法「美濃筒引き本染め」を用いて大漁旗、大相撲のぼり、獅子舞用衣装、袴纏(はんてん)などを制作。非常に豊富な知識と高い技術で、伝統芸能や伝統芸術を支える。

●岐阜新聞大賞

1950(昭和25)年創設。学術、文化、地域貢献、産業など各分野で発展に貢献、功績を残した個人・団体・企業に贈ります。

今回を含めた受賞者は513人、3企業、22団体となります。